

未来の かみいよりすと

富山県内のがんばる介護職員を紹介します！

医療法人財団 五省会
介護老人保健施設
みどり苑

むかいあづみ
介護福祉士 向井愛摘さん

富山市



Q 「介護」や「福祉」の仕事に興味を持ったきっかけは何ですか。

A 介護の仕事をする人たちの、やさしさや笑顔に触れたことです

父が介護職員として働いていた経験があり、今も福祉関連の仕事をしているため、子どもの頃から福祉や介護を身近に感じながら育ちました。中学生のころに祖父ががんて入院したとき、認知症の症状も出たため、退院後にホームヘルパーさん（訪問介護員）から移動や食事などの介護を受けることになりました。ホームヘルパーさんは祖父にやさしく接してくれるだけでなく、私たち家族のことにも心を配ってくださり、その姿勢を見て「私も人を支える仕事がしたい」と思い始めました。

介護の仕事をしようと決意したのは、富山県社会福祉協議会の介護体験に参加して、デイサービスで利用者さんと交流したのがきっかけです。レクリエーションや入浴後に髪を乾かす手伝いをしたのですが、どの利用者さんも楽しそうに過ごしておられました。介護スタッフの笑顔が心に残り、人のためになる仕事をしながらできるのなら、自分も携わってみたいと思うようになりました。

Q 仕事で「大変だな」と感じる瞬間を、どのように乗り越えていますか。

A 休日に楽しみをつくり、
仕事へのモチベーションを上げています

介護の仕事で大変さを実感するのは、体の大きな入所さんをベッドから車椅子に移すときです。自分の力だけでやろうとすると、入所さんと私の両方の体に大きな負担がかかります。正しい介護動作を学び、介護の助けになる道具やロボットを活用することで、利用者さんも安心して介護を受けられます。

私の職場は、希望した日に休みを取りやすく、休みを利用して県外に旅行に出かけて好きなアイドルグループのライブに行くこともあります。それ以外にも、YouTubeやSNS動画を参考にお菓子を作ったり、ケーキ屋さんを巡ったりして休みを過ごしています。リフレッシュ休暇や記念日休暇という制度もあります。休日に楽しみがあると、毎日のモチベーションも上がり、仕事の励みにもなります。

子どものころから、
憧れの仕事でした



Q どんな人が介護の仕事に向いていると思いますか。

A 入所者の声を丁寧に聞き、
職場の仲間と協力できる人が向いています

介護するときは、入所者の声を受け止め、一人ひとりの思いを丁寧に聞くことが大切です。話を最後までしっかりと聞ける人は、介護の仕事に向いています。そして共感力のある人は、相手の喜びや不安を自分のことのように感じる

ことができ、自然と入所者に寄り添いたいという気持ちが湧いてくるはずです。一緒に働く仲間に対しては、考えをきちんと伝え、相談する姿勢が大事です。自分だけで解決しようとせずに「手伝ってください」と言える人が信頼されます。認知症の入所者の気持ちをうまく理解できないときは、対応が得意な先輩に代わってもらって接し方を学んでいます。

現場は一人で頑張るのではなく、職員同士がチームで支え合うことが大切です。やさしさだけでなく、仲間と協力できる勇気を持っている人が介護職に向いていると思っています。



Q 小中高生やこれから介護の仕事を目指す人に伝えたいメッセージをお願いします。

A 介護は人の生活を支える、人にしかできない素敵な仕事です

介護は人の生活を支える仕事で、人にしかできないことであふれています。入所さんは「家に帰りたい」と口にされることもあり、そんなときは気持ちが落ち着くように声をかけ、心に寄り添う姿勢が大切です。一人ひとりの性格や状態を理解した上で介護することは、ロボットやAIにはできません。介護はこれから先も、人の力で成り立つ仕事です。

入所さんは、医師、看護師やリハビリスタッフ、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士など、さまざまな職員と接しています。最も身近な存在なのが私たち介護福祉士です。仕事は苦勞する場面もありますが、日々の仕事の中で「ありがとう」の言葉や笑顔に出会えるうれしい瞬間がたくさんあります。そんなときは、私もこの仕事を選んでよかったと感じます。

将来を考えるとときに、介護を人と人がつながる素敵な仕事として、ぜひ選択肢に入れてください。

Q 今後の目標をお聞かせください。

A 入所さんが楽しめる
レクリエーション企画をもっと考えたいです

認知症専門病棟で勤務しているのですが、月に1回、入所さんに楽しんでもらうためのレクリエーションがあります。私はイベントのアイデアを考えるのが好きで、3月にお雛様の顔はめパネルを作ったり、10月に芋掘りゲームを考えたり、いろんな提案を実現してきました。これまでの取り組みを評価してもらい、新設されたレクリエーションチームリーダーに抜擢されました。今は、入所さんと一緒に、自分の考えたレクリエーションを行う時間が喜びです。参加した入所者さんから「今日も楽しかったよ」と声をかけられると、自分の頑張りを褒めてもらえたようで、次への意欲につながります。これからも、たくさん楽しい催しを企画したいです。